作成日：2002 年 12 月 2 日
改訂日：2011 年 3 月 1 日

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名　：ジェイエース水溶剤
会社名　：全国農業協同組合連合会
住所　　〒100-6832　東京都千代田区大手町一丁目３番１号
担当部門　　肥料農薬部　農薬原体・開発課
TEL03-6271-8289,　FAX03-5218-2536
推奨用途及び使用上の制限　：農業用殺虫剤、農薬登録以外の使用は不可

2.危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分５
	急性毒性（経皮）	区分５
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼刺激性	２Ｂ
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分２
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分１（神経系）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分２（神経系）
環境に対する有害性	水生環境急性有害性・急性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

健康有害性

注意喚起語　危険

危険有害性情報
飲み込むと有害のおそれ（経口）
皮膚に接触すると有害のおそれ（経皮）
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
神経系の障害
長期又は反復暴露による神経系の障害のおそれ

注意書き　[安全対策]
取扱い後は速やかに顔、手、眼を洗いうがいをすること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
適切な個人用保護具を使用すること。
粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。

[応急措置]

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
暴露又はその懸念がある場合､医師の診断､手当を受けること。
漏出物は回収すること。

吸入した場合：

被災者を速やかに新鮮な空気の場所に移す。衣服を緩めて深呼吸をさせ、よくうがいをし、医師の手当を受けること。

皮膚に付いた場合：

直ちに水で洗い流した後、石鹸でよく洗い落すこと。

眼に入った場合：

直ちに清浄な流水で眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄し、医師の手当を受けること。なお、清浄に際しては、眼球、眼瞼を傷つけないように十分注意すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：

速やかに吐き出させ、医師の手当を受けさせること。

[保管]

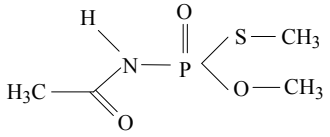
施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物、容器を関係法令、条令に従い適切に処理する。
または都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
農薬の種類名 ： アセフェート水溶剤
有効成分
化学名 ： O,S-ジメチル-N-アセチルホスホロアミドチオエート
一般名 ： アセフェート
化学式 ： $C_4H_{10}NO_3PS$
構造式 ：



成分情報　　：

一般名	化管法	安衛法	毒劇法	CAS 番号	含有量
アセフェート	1 種 212	非該当	非該当	30560-19-1	50.0%

4.応急措置

吸入した場合　　：被災者を速やかに新鮮な空気の場所に移す。衣服を緩めて深呼吸をさせ、よくうがいをし、医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合　：直ちに水で洗い流した後、石鹸でよく洗い落す。
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の手当を受ける。

眼に入った場合　　：直ちに清浄な流水で眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄し、医師の手当を受ける。なお、清浄に際しては、眼球、眼瞼を傷つけないように十分注意する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合　　：速やかに吐き出させ、医師の手当を受けさせる。

予想される急性症状及び遅発性症状：

吸入　　；縮瞳、筋痙直、唾液分布過多、発汗、吐き気、めまい、息苦しさ、痙攣。

経口摂取；痙攣、嘔吐、下痢。

医師に対する注意事項：本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤および PAM 製剤が有効であるとの報告がある。

5.火災時の措置

消火時の注意　　:消火活動には適切な保護具（自給式空気呼吸器等）を着用し、高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消化水が河川等に流入しないように気をつける。

消火剤　　：粉末、炭酸ガス、泡、水、乾燥砂

使ってはならない消火剤：特になし

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：処理作業には適切な保護具（保護衣、保護メガネ､保護マスク等）を着用する。

環境に対する注意事項：下水、河川、田畑等に流さない。

回収・中和並びに封じ込め浄化の方法・機材：

飛散したものを掃き集め、密閉可能な空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水でよく洗浄し、洗浄水は全て密閉可能な容器（廃棄物入れ）に回収する。（処分は「廃棄上の注意」の項に従って行う。）

二次災害防止策　　：風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い　　：局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、ガスや粉塵を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は速やかに顔、手、眼を洗い、うがいをする。

保管　　：適切な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管する。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策　：作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

管理濃度　：設定されていない。

許容濃度　：設定されていない。

保護具　　：状況に応じた適切な保護具を着用する。
防塵マスク、保護メガネ、保護衣（長袖・長ズボン）、ゴム手袋。

9.物理的及び化学的性質

外観	：淡青色水溶性粉末
臭い	：特異臭
pH	：３．９
融点・凝固点	：情報なし
沸点、初留点および沸騰範囲	：情報なし
引火点	：情報なし
燃焼または爆発範囲の上限・下限	：情報なし
蒸気圧	：情報なし
蒸気密度	：情報なし
比重（相対密度）	：０．５３
溶解度	：水に易溶
ｎ－オクタノール／水分配係数	：情報なし
自然発火温度	：情報なし
分解温度	：情報なし

10.安定性及び反応性

安定性	：通常の貯蔵・取扱い条件下では安定である。
避けるべき条件	：加水分解、高温、火気、火花、アーク、点火源、静電気蓄積
混触危険物質	：情報なし
危険有害な分解生成物	：燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等が発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性　　経口（ラット）LD_{50}　：♂♀＞3,150mg/kg
　　経皮（ラット）LD_{50}　：♂♀＞2,000mg/kg
皮膚刺激性　（ウサギ）　：軽度の刺激性
眼刺激性　（ウサギ）　：軽度の刺激性
皮膚感作性　（モルモット）　：感作性なし
生殖細胞変異原性　：区分外
「原体情報」; エームス試験及びラットの肝細胞を用いた不定期 DNA 試験で陰性、ハムスターの CHL 細胞を用いた試験で直接法では陽性であったが、代謝活性化法では陰性であったことから区分外とした。
発がん性　：区分外
「原体情報」; マウスを用いた 18 か月の経口投与発がん性試験において高用量群の雌のみに肝細胞癌が有意に増加したが、その他には明確な発がん性を示唆する結果は得られていない。又ラットを用いた 104 週間経口投与試験においては有意に増加を示す腫瘍は認められず、発がん性を示唆する結果を得られていないことから区分外とした。
生殖毒性　：区分２
「原体情報」; ラットの２世代繁殖試験において、Ｆ１世代の着床数、親世代及びＦ１ 世代の出生児数及び腹毎の生存胎児数の減少が有意に減少した結果から区分２とした。
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）　：区分１
「原体情報」; ラットを用いた単回経口投与試験において、形態学的な変化は認められなかったが、コリンエステラーゼ活性阻害に起因する明白な行動への変化が認められたことにより、区分１（神経系）とした。
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）　：区分２
「原体情報」; ラットを用いた１３週間経口投与神経 毒性試験において神経病理学的には影響は認められなかったが、脳、血漿及び赤血球コリンエステラーゼ活性が有意に阻害されたことから、区分２（神経系）とした。
吸引性呼吸有害性　：情報なし

12.環境影響情報

生態毒性　（コイ）　：LC_{50}(96hr)　＞1,000mg/L
　　（オオミジンコ）　：EC_{50}(24hr)　＞860 mg/L
　　（藻類）　：NOEL(72hr)　1,000 mg/L
残留性・分解性　：情報なし
生物蓄積性　：情報なし
土壌中の移動性　：情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物　：関係法令、条令に従い適切に処理する。または都道府県知事の許可

を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

汚染容器及び包装:空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

国際規制

国連番号　　:―
品名　　:―
国連分類　　:非該当
容器等級　　:非該当
海洋汚染物質:非該当

国内規制　　:輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

輸送の特定の安全対策及び条件

:輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車輌、船舶には保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な消化剤、工具などを備えておく。

15.適用法令

農薬取締法　　:農薬
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）:第一種指定化学物質
政令番号第 212 号（アセフェート）

16.その他の情報

中毒に関する緊急問い合わせ先

財団法人日本中毒情報センター

・大阪中毒 110 番（365 日、24 時間対応）
一般市民専用電話（情報提供無料）　072-727-2499
医療機関専用電話（有料 2 千円/件）　072-726-9923
・つくば中毒 110 番（365 日、9～21 時対応）
一般市民専用電話（情報提供無料）　029-852-9999
医療機関専用電話（有料 2 千円/件）　029-851-9999

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成されており安全性や品質の保証をなすものではありません。危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。